

事業所名

ポコアポコ青森

支援プログラム

作成日

令和 6 年

12 月

20 日

法人（事業所）理念		障がいの有無にかかわらず、全ての人が相互に人格と個性を尊重し合いながらライフステージに応じて自立に向けた力を育て、将来にわたり社会の中で生きていく力を育みます。											
支援方針		1. 安心・安全で自分らしく過ごせる居場所や多様な体験活動の提供を通し、個々の良いところ、得意なことを見つけ、それを伸ばすと共にスモールステップでお子さん一人一人の自立に向けてサポートしていきます。 2. 日常生活における基本的動作を習得し、それぞれのお子さんに合った集団生活に適応していくことができるように支援しています。											
営業時間		9 時		0 分から		18 時		0 分まで		送迎実施の有無		ありなし	
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	◇基本的生活習慣の習得・生活スキルの獲得 将来の自立した生活の基礎となる基本的生活習慣の確立を目指し、規則正しい生活リズムを身に付けられるように支援していく。 就労等を見据え社会生活で求められるスキルの獲得を目指し、適切な身だしなみや健康管理などの自己管理能力の向上を支援していく。自らの個性を生かしながら社会との関わる力を養います。											
	運動・感覚	◇身体機能の向上・体幹の強化 微細運動・全身運動を継続することで基礎体力や体幹の向上と動作の習得を目指していく。 ◇感覚統合の支援 感覚の特性を踏まえて、感覚の偏りに対する環境調整を行います。											
	認知・行動	◇スケジュールや時間管理スキルの支援 スケジュールボードやタイムスケジュール、作業手順書などの視覚的ツールを活用した支援を行います。時間管理能力や作業の優先順位付け、手順の理解と遂行能力を養います。 ◇利用児の障害や特性に応じた支援 個々の特性やや認知の偏りに応じて環境に配慮をしながら各特性に応じた支援を行う。											
	言語 コミュニケーション	◇コミュニケーションスキルの向上 集団活動を通してコミュニケーションスキルの向上を支援していく。また、言語による意思疎通に加え、自分の気持ちを表現できる多様なコミュニケーション方法を支援していく。 絵本の読み聞かせやテーマに沿った会話により言語の獲得や傾聴力を育てていく。											
	人間関係 社会性	◇社会的なルールやマナーの理解 SSTや勝ち負けのある集団活動を通して社会生活に必要なルールや役割分担・協調性などを学んでいく。 戸外活動を通して公共機関での適切な挨拶や言葉遣い・ルールやマナーを習得していく。 近隣施設との交流や様々な体験を通して主体的に活動できるように支援します。											
家族支援		・子育てに関する困りごとの相談・支援 ・連絡帳や申し送りでのやり取りや個別面談 ・保護者同士の交流の場として保護者参加型行事の開催						移行支援		・進学・就労先との情報共有 ・地域のイベントなどを通じて地域との交流をもつ ・進学・就労などの環境変化に対応できるよう生活リズムの調整サポート			
地域支援・地域連携		・各関係機関との連携 学校や併用事業所、相談支援などと連携を図りながら情報共有することで支援の質の向上に繋げる						職員の質の向上		・定期的な事業所内研修 ・外部研修（随時）			
主な行事等		・各季節のイベント行事（ひな祭り、七夕、夏祭り、運動会、クリスマス会等）・保護者参加型行事 ・戸外活動（公園、畑作業、体育館、雪遊びなど） ・クッキング・制作活動・全身運動											